

## 地域おこし協力隊が地元の民芸品を PR !

大津町指定 無形民俗文化財「梅の造花」の多言語リーフレットを発行

大津町の「梅の造花」は、梅の生木の枝に「蒔草紙(つうそうし)」という紙でつくった花やつぼみをつけ、梅の花を模した精巧な造り花です。

江戸時代からつくられてきた歴史ある民芸品。昔は、大津町に住む女性は皆、梅の造花をつくったといわれるほど普及していましたが、現在は「肥後大津民芸造花保存会」の11人の会員がこの伝統を守っています。

この度、町の地域おこし協力隊が保存会と協力して、日本語・英語・中国語(繁体語)のリーフレットを作成。近年増え続ける外国人観光客や移住者にも、民芸品の魅力を知ってもらおうと多言語で作成しました。

また「蒔草紙」は、明治の末より台湾から取り寄せています。近年は梅の造花づくりの体験に台湾から訪問される方もいます。本紙では、梅の造花が台湾と大津町の橋渡しにもなっていることも伝えています。



本紙は町内の公共施設のほか、道の駅や宿泊施設、県内外の美術館・博物館・民芸館などに設置しています。大津町 HP でもご覧いただけます。デザインやイラストは町内在住のデザイナー、イラストレーターが手がけました。

昨年大津町に移住して、初めて「梅の造花」を見たとき、その繊細で力強い姿に目を奪われました。さっそく私も保存会に入会し、造花づくりのいろはを学んでいます。

この民芸品の魅力を皆さんに知らせないのはもったないと、保存会の先生方や学芸員さん、町内のデザイナーに協力してもらい、リーフレットを作成しました。

梅の造花を展示している施設マップも掲載していますので、リーフレット片手にぜひ町を散策してみてください。



大津町地域おこし協力隊  
藤 友里江(とう ゆりえ)

## 2月8日(土)から梅の造花展覧会をおおづ図書館で開催

2025年2月8日(土)~3月6日(木)、「おおづ図書館」(大津町大津1171)ロビーにて「早春彩る 大津町伝統民芸梅の造花展」を開催します。保存会会員が作った作品の数々を展示するほか、2月15日(土)10時から保存会による造花製作の実演やワークショップも行います。

<この件に関する問い合わせ>

大津町役場 総合政策課 情報政策係 担当:藤 友里江(地域おこし協力隊)  
電話:096-293-3118 Mail:ocp@town.ozu.kumamoto.jp

大津町ホームページ

